

人体の構造と機能及び疾病

問題 1 思春期に伴う心身の変化に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 この時期の心理的特徴として、自意識に乏しいことが特徴である。
- 2 女子では、初経から始まり、次いで乳房や骨盤の発育がみられる。
- 3 男子は、女子よりも早い時期から思春期が始まる。
- 4 身体の変化は緩徐な変化が多い。
- 5 第二性徴という身体的な変化が始まる。

問題 2 国際生活機能分類（ICF）に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 対象は障害のある人に限定されている。
- 2 「社会的不利」はICFの構成要素の一つである。
- 3 「活動」とは、生活・人生場面への関わりのことである。
- 4 仕事上の仲間は「環境因子」の一つである。
- 5 その人の住居は「個人因子」の一つである。

問題 3 次のうち、疾病の予防に関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 特定健康診査は一次予防である。
- 2 糖尿病予防教室は一次予防である。
- 3 ワクチン接種は二次予防である。
- 4 リハビリテーションは二次予防である。
- 5 胃がんの手術は三次予防である。

問題 4 次のうち、2021年(令和3年)における、がん(悪性新生物)の主な部位別にみた死亡数で女性の第1位として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 大腸がん
- 2 胃がん
- 3 膵臓すいぞうがん
- 4 乳がん
- 5 肺がん

問題 5 パーキンソン病の原因と症状に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 小脳の異常である。
- 2 脳内のドーパミンが増加して発症する。
- 3 安静時に震えが起こる。
- 4 筋固縮がみられる。
- 5 大股で歩行する。

問題 6 事例を読んで、Aさんの症状として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Aさん(55歳)は、出勤途中に突然歩けなくなり、救急病院に運ばれた。脳梗塞と診断され、治療とリハビリテーションを受けたが、左の上下肢に運動麻痺まひが残った。左足の感覚が鈍く、足が床についているかどうか分かりにくい。歩行障害があり、室内は杖歩行又は伝い歩つえきをしている。呂律が回らないことがあるが、会話、読み書き、計算は可能である。食事は右手で箸を持って問題なく食べることができる。尿便意はあるが、自分でトイレに行くのが難しいため、間に合わず失禁することがある。

- 1 失語症
- 2 対麻痺
- 3 感覚障害
- 4 嚥下障害えんげ
- 5 腎臓機能障害

問題 7 注意欠如・多動症(ADHD)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 学童期の有病率はおよそ20%とされている。
- 2 多動性の症状は、青年期及び成人期には改善することが多い。
- 3 学校での症状が主であり、家庭では症状がみられないことが多い。
- 4 精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-5)では、4歳以前に症状があることを診断基準としている。
- 5 治療としては、薬物療法が第一選択となることが多い。